

委員長 それでは休憩を解いて再開いたします。 (13時13分)

次は172ページの教育費から219ページまでの予備費までの審査を行います。  
御質問のある委員は挙手をお願いします。

北村委員 177ページ、英語教育講師、講師の給料ですかね、報酬ですかね、こちらなんですけど。多分、僕の認識だとALTなのかなと思うんですけども。もしそうなのかというようなことと、あと今現在何名で実働はどのようなことされてるかというのをお答えいただければと思います。

続いて183ページですね。ICT活用促進事業の委託料、こちらのほうの具体的な使用方法、使用先というかですね、そちらのほうをお答えいただければと。

最後1つ、207ページ、未来トップランナーとスーパーキッズの助成金。令和5年執行されておりますけれども、どのような方を対象に執行されたかというような、具体なところを教えていただければと思いますので、その3点よろしく願いいたします。

学校教育係長 今、北村議員のほうから御質問いただきました、まず177ページの英語教育講師給料ということでありましたが、令和5年度につきましては、全部で4名の給料がここに該当をしております。それぞれですね、松田中学校に1名、松田小学校に1名、松田幼稚園に1名、寄幼稚園と寄小学校で1名という形で稼働をさせていただいております。松田中学校、松田小学校につきましてはALTの業務といたしまして、主任の先生の補助というような形をさせていただいております。幼稚園につきましては英語のイングリッシュタイムということで時間を設けさせていただくものと、あとはふだん教育の中です、子供たちと一緒に行動をしながら英語のシャワーを浴びせるというような役割を担っているところでございます。私からは以上となります。

施設管理係長 北村議員から御質問のありましたICT支援員業務委託料の内容についてでございます。令和5年度につきましては2名の方がですね、3校、松田小学校、松田中学校、寄小学校を回ってございます。学校訪問日数は年間171日でございます。これは3校のトータルで171日ということでございますので、単純に1校当たり57日程度行っているところでございます。時間は9時から5時ということ

でございます、業務内容につきましてはICT機器操作方法の指導や、事業におけるICT機器の活用の支援、助言、授業前のICT機器の準備など、ICT関係の先生方のサポートという形で入っております。以上でございます。

生涯学習係長　引き続き3点目の未来トップランナー、スーパーキッズの関係でございます。未来トップランナーにつきましては、将来を嘱望されている子供たちの活動のためにということで交付させていただいておりますけれども、5名ですね。ダンスとして3名、野球で1名、卓球で1名という形でお出しをさせていただいております。スーパーキッズにつきましては団体の育成補助金となります。12団体ですね、211名分ですね、として交付をさせていただいております。よろしくお願いいたします。

北村委員　英語教育講師の給料なんですけれども、今、実働の実績はお伺いしたんですけれども、今後それを何か広げていくみたいな御予定等々はございますでしょうか。よろしくお願いいたします。

学校教育係長　まず令和5年度につきましては4名体制でやっておりました。令和6年度からですね、また1名増えておまして、計5名でやっております。5名で増やした1人なんですけれども、保育園のほうに今派遣をしております。保育園につきましても保育園から申請を受けて派遣をしているような状況になっているんですけれども、さくら保育園につきましても9割方松田町の子供たちという中でですね、幼稚園と差がなく英語教育をということで、令和6年度から事業を実施しているところでございます。今現在、来年度に向けてというところはあるんですけれども、今のところその学校のカリキュラムですとか幼稚園の様子を見ていると、今、発展途中ではありますが、充実した英語教育を実施できているのかなと。あとは今後そのやり方ですとか、また幼稚園、学校以外の、今年度もちょっと冬ぐらいにイングリッシュカフェ等を開こうかなと思っております。そういうところにもしっかり目を向けて充実をさせていきたいというふうに思っております。以上となります。

北村委員　一般質問の中で学童保育でも何かALTの方がなんていうお話をされてて、他課にわたって連携されてるのかなと思うんですけど。学童保育、1年生とか

だともう半分以上が学童保育というようなところで、密な連携をお願いしたいななんていうことはちょっと思っているんですけども、そのようなところの実績とかも教えていただけたらありがたいです。

学校教育係長　今既にですね、学童保育のほうには、すみません、先ほどちょっと漏れてしまったんですけども。学童保育のほうにもALTを派遣をしております。週に、ちょっと今は2回、3回、その週によってなんですけども、派遣をさせていただいておりますので、そちらも学童保育室、課で言うと子育て健康課としっかり連携をしてですね、今後またどのような形で充実をさせていけばいいかというふうなところ、検討を進めていきたいと思います。ありがとうございます。

北村委員　ありがとうございます、以上です。

委員長　いいですか、はい。ほかに。

飯田委員　ページ数が217ページのちょうど真ん中辺で、委託料としてスポーツツーリズム推進委託料というのが、2,377万円というちょっと大きいんですが、委託料が入ってます。これはですね、ちょっとお伺いしたいんですが、どのような業者に発注して、どのような推進がされたのか、内容をちょっとお伺いしたいと思います。

生涯学習係長　スポーツツーリズムの関係の御質問でございます。スポーツツーリズム、この委託につきましては、プロポーザル方式ということで募集をさせていただき、提案をいただき、契約をさせていただきました。契約業者としましては、株式会社湘南ベルマーレフットサルクラブのほうと契約をさせていただきました。内容としましては、仕様書のほうでいきますと、スポーツコミッションに関する事業、中学生の部活動の地域移行のモデル事業、スポーツによる地域活性化プロモーション及びイベント企画の実施、スポーツによるまちづくりの計画というような項目で募集をさせていただいたものでございます。

内容としましては、例えば1つありますのは、湘南ベルマーレフットサルクラブの試合に町民のほうを招待してですね、スポーツの機運を高めるとか、中学校に伺って地域の方、講師としてですね、部活動の入り口の指導をしたいと。また各お祭りとかにですね、ベルマーレの選手が来ていただいて、ベルマーレ

の媒体を通じて町を発信をさせていただいたりというようなところを進めさせていただきました。また、寄地区にですね、宿泊施設にツーリズムとして都内、またはちょっと遠方ですね、チームを招待して招待試合を開いたと。ただ、すみません、会場につきましてはちょっとみやま運動広場がちょっと使えなかったものですから、近隣のサッカー場を使ってですね、大会開いたんですが、町内にそういったことの誘致をさせていただいたというようなところが主だった事業内容でございます。こちらのほうはまた今後に活かさせていただくものでございます。よろしくお願いいたします。

飯 田 委 員 委託料二千三百七十何万という高額なものですよね。それに対して我々にですね、何の報告もないというふうなことは、ちょっと問題じゃないかと思うんですよ。というのは、以前松田地区の特産品の委託した際でもですね、いろんな形で小冊子が最終的には出来上がって、松田町の特産品に対するいろんな調査項目とかいろいろ小冊子で我々もらってるわけなんですよ。それでこれからね、松田町がこのスポーツツーリズムをね、活用して活性化していこうというふうな大事なね、部分で、ただ役場っていうか行政だけが知っててね、議員が、こういうのがあるんだけど、細かい部分全然分かってない、知らないということがあっちゃまずいと思うんですよね。これがいいですよ、50万か100万ぐらいの委託で何かやったものだったら、それなりのものだろうと思うんですが、もう2,377万もかけてね、報告書を受けてるわけでしょ。やっぱりそういうものに対してね、やっぱり町民もそうだけどね、議員なんかにもちゃんとした報告してもらわなければさ、ちょっとこれ、まずいんじゃないかと思うんですが、その辺はどういうふうにお考えですか。

生涯学習係長 予算をお認めいただいたときに、継続事業として5年度、6年度の継続事業としてお認めをいただいてまして、この5年度の部分での支払いが2,300万円だったと。契約につきましては2,990…すみません、予算が3,000万円の中でですね、すみません、ちょっと細かい数字でですね、二千九百九十数万円というようなところで、まだ継続の事業となりまして、最終的な当然取りまとめた結果等につきましては、当然しかるべきときに皆様のほうにお出ししてですね、共有を図らせ

ていただいて、町の方向性ということでお示しをさせていただかないといけないというふうに考えているところです。よろしくお願いいたします。

飯 田 委 員 継続であってもですね、途中経過、もう令和5年度で決算が出てるんですよ、幾ら使ったって。継続であっても途中経過みたいな形で、やっぱり周知させるべきだと思うんですが。というのはね、いつもそうなんですけど、終わってからの報告なんですよ、みんな。そうじゃなくて、途中経過で何か意見があればね、我々も意見が言えるわけですよ、それに対して。ところが、もう決まっちゃうと、決まっちゃった後にね、そういう報告書を出しても、もうそれは結果として我々受け止める以外ないわけですよ。それではちょっとまずいんじゃないかと思うんですが。その辺に対しての考え方をお願いします。

教 育 課 長 スポーツツーリズムの推進事業につきましては、昨年度ふるさと納税応援寄附金を原資として実施をさせていただいたところでございます。途中経過というところで、令和5年度が終わった段階です、御報告をできなかったことは大変申し訳ございません。内容といたしましては、調査というところで、今担当のほうからも話がありましたけれども、どのくらいの寄地区であったり、町内にですね、どのくらいのポテンシャルがあるかというところを主に調査をしたりですとか、またベルマーレというそのネームバリューを使ってSNSとかで発信をして、どの程度の効果があったかというところで、なかなか数値化するところですね、限られてきてしまうっていうのはあるんですけども、実施に当たって年度途中で、たとえ議員がおっしゃるようになります、途中でということであっても、御報告ができなかったことについては大変申し訳ございませんでした。おわびをさせていただきます。今後取りまとめた上でしかるべき時期にですね、御報告を差し上げたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

飯 田 委 員 松田町にとってね、これから大事な事業になると思われまますので、ひとつその辺はやっぱり町民とか議会とかコンセンサスとりながらね、進めていってもらいたいと思いますので、お願いします。

委 員 長 よろしいですか。ほかには。

南 雲 委 員 ページはあれなんですけど、子ども・子育て会議のところで伺おうかと思ってたんですけども。この会議で認定こども園の方向性が話し合われてると思うんですけども、今話し合われている方向性についてどうなってるのか伺いたいと思います。

子育て健康課長 議員の御質問にあった子育て会議の関係ですね、まず。そちらのほうはですね、年1回会議を開催しております、令和7年度の子ども・子育て支援事業計画ですね、そちらのほうは令和7年度からまた開始しますので、それに向けて今、子ども・子育て会議のほうを進めているんですけども。認定こども園の関係につきましては、子ども・子育て支援事業計画の中で、その中で分析をしていながら、今後の方向性とか併せて検討していきたいという状況でございます。

南 雲 委 員 それでは一応これから検討されるっていうことで、なんですけれども、これから2026年度から本格的にこども誰でも通園制度が始まりますね。それで、これは1人1か月10時間まで、仕事をされていない御家庭でも保育園等に入園できる…入園できないお子さんを預かる制度になってます。それで認定こども園でもこの対応ができるんですけども、この対応に対して、なのはなとかさくら両園で、預かるキャパがあるかどうかもちよっと心配なんですけれども、その辺のお考えについて伺いたいと思います。

子育て健康課長 ただいまの御質問にお答えさせていただきます。こども誰でも通園の件につきましては、さくら保育園さん、なのはな保育園さんに、そういった制度がこれから国のほうでも進めていくということで、調整とか御相談はさせていただいているんですけども、今ちよっとさくら保育園もなのはな保育園さんでもありますね、こども誰でも通園制度というのはまだ始まったばかりでですね、そういった対応をどういうふうにしていくかというところをですね、保育士の問題もありますので、そこら辺もちよっと今後詰めて考えていくということは話しておりますので、町のほうとしましてもこども誰でも通園制度というのをもう少しですね、理解した上で、さくら保育園となのはな保育園さんと、両園にちよっと、これからはちよっと検討をしていきたいと考えております。

南 雲 委 員      もう2026年度から始まるということで、あまり猶予がないという感じが私も  
していますので、保育士さんのね、確保とかも大変な問題ですので、しっかり対  
応して行っていただきたいと思います。よろしく願いいたします。要望です。

委 員 長      よろしいですか。はい。ほかには。教育から予備費までの関係で。ほかに質  
問ありませんか。

それではないようですので、教育から予備費は終了します。